

2014 年 4 月 25 日  
マツダ株式会社

## 2014 年 3 月期決算発表 主な質疑応答

1. **2015 年 3 月期の株主還元(期末配当 2 円)の考え方について**
  - A. 当期の業績見通し、経営環境並びに財務状況等を勘案して決定しました。2013 年 3 月期に利益を黒字化し当期で 3 期目になります。為替の変動をはじめとする急激な経営環境の変化に対応できる財務体質の構築には、もう少し時間を要する見通しです。今後も財務状況など、内部留保とのバランスも考慮しつつ、安定的かつ着実な向上に努めてまいります。
  
2. **2016 年 3 月期の台数見通しを 152 万台に見直した要因はなにか。**
  - A. 各国の需要動向を踏まえて、新興国を中心に販売台数見直しを見直しました。なお、日本、北米、欧州については、従来の台数見直しに変更はございません。
  
3. **グローバル販売台数 170 万台の達成はいつになるか？**
  - A. 2016 年 3 月期のグローバル販売台数を 152 万台に見直しましたが、170 万台は引き続き達成すべき目標として認識しております。今度も正価販売を継続・強化しながら台数成長を図る計画です。
  
4. **2016 年 3 月期の台数見直し変更に伴い、従来 2016 年 3 月期に 50%を目標としていた海外生産比率に変更はあるか。**
  - A. 国内生産は引き続き 85 万台以上を維持しつつ、今後の台数成長に向けては、海外工場での生産を増加させていくことで対応してまいります。

以上